

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

小さな事件から大きな問題を考える

—外交史の可能性—

近世の日本は東アジアと密接な関係を維持しながら、ヨーロッパ諸国や東南アジアの国々とも正式な直接「外交」交渉を行っていた。16、17世紀のアジア海域各地や港町等における「国際化」をめぐる状況を見ていくと、日本の支配者は、来日した外交使節に対して、ある程度、対等な立場をとりつつ敬意を表していたことがわかる。

本報告では、こうした対外交渉の相互関係をさらに深く理解するために、港町という対外交流の現場に注目する。



1611年の徳川秀忠のスペイン王宛の書簡

そこで見られる小さな「歴史的出来事」をより大きな問題群の中に位置づけることを目指して、出来事の主体(アクター actors)となる人々に視点を定めつつ、彼らを取り巻く、外交や権力関係、国際交易のあり方など描き出していく。(※報告は英語で行われます。)

◆ **日 時:** 2013年 6月 13日 (木) 17:00-18:00

◆ **報告者** ビルギット・トレムル 氏 (日本学術振興会 外国人特別研究員)

◆ **会 場:** 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

◆ **参加費:** 無料 (申し込みは不要です)

◆ **問い合わせ:** 電話: 03-5841-5868 E-mail: asnet@asnet.u-tokyo.ac.jp

東文研・ASNET共催セミナー

東洋文化研究所とASNETは毎週木曜日の夕方にセミナーを開催しています。どなたでもご参加頂けます。皆様のお越しをお待ちしております。詳しくはこちら: <http://www.asnet.u-tokyo.ac.jp/>

東大ASNET

検索

東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

